

第3回秋田市マイタウン・バス東部線木曾石地区運行協議会議事要旨

開催日時 平成26年1月29日(水) 午後6時30分～7時30分

開催場所 木曾石公民館

委員定数 9人

出席委員 8人

- 次第
- 1 開会
 - 2 委員紹介
 - 3 会長選出
 - 4 会長職務代理者選出
 - 5 議事
 - 6 その他
 - 7 閉会

議事

議事1 利用状況について
議事2 運賃改定について
議事3 個別要望について

事務局	1 開会
会長	あいさつ 議事に入る。 議事1 利用状況について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料に沿って説明)
会長	事務局からの説明について、何か質問、意見等あるか。
会長	大学病院から谷内佐渡へ行き、谷内佐渡で降りる人がいる。
委員	駅に行くには、大学病院から乗り継ぐことになる。 しかし、そのような人はいない。
委員	谷内佐渡で降りると20円違う。

会 長	引き続き、議事2 運賃の改定について、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	(資料に沿って説明)
会 長	事務局からの説明について、何か質問、意見等あるか。
会 長	それでは、引き続き、議事3 個別要望について、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	(資料に沿って説明)
会 長	事務局からの説明について、何か質問、意見等あるか。
委 員	このダイヤでは、朝夕の便が利用しづらい。
委 員	元々多かった便数を減らしたのは何故か。 元々どのくらいの人数が乗っていたのか。
委 員	このダイヤでは、通勤には使えない。
会 長	最初の便を30分早くし、次の便も30分早くして欲しい。 以前は、忘年会等に行く際にバスを利用できる便があったため、利用していたが、今は、無いため、利用できない。 回送するのは、もったいない。 乗らない時間帯に運行されても、乗らない。 乗る時間帯に便があれば、乗る。
委 員	以前は、木曾石6:55発の便があった。 この便がカットされたのは、納得いかない。
事 務 局	以前の運行協議会の要望を基に、通院を主な目的としたダイヤとなった。 ただ、一方的に無くした訳ではない。
委 員	6:30と8:00代の便を要望していた。
事 務 局	検討させていただく。
委 員	この路線は、通院や買い物をが目的であることをはっきり言って欲しい。 協議会に任せるというのでは、同じことの繰り返しではないか。
事 務 局	利用者の目的であることから、こちらから一方的に目的を言うことは出来ない。

委員	このダイヤでは、通勤は利用できない。
会長	お客に対するニーズを考慮したダイヤにして欲しい。
委員	同じことの繰り返しだ。
会長	検討結果は、書面で欲しい。
委員	確認として、今までの要望に対して検討するが、要望のすべての回送が増便となる訳ではない。 運転手の労働時間の制限を考慮して、検討させてもらう。
会長	ほかに何か質問等あるか。 ないようなので、これで議事は終了する。
事務局	次第5のその他について、ほかに何か意見等あるか。
委員	広報あきたに「エイジフレンドリーシティ行動計画」の中では、交通機関の利便性の向上をはかるとし、公共交通の利用促進、高齢者の日常移動手段の確保を掲げているが、バスが3便しかない状況では暮らしていけない。 このことについて、交通政策課はどう思っているのか。 また、前回のデマンドについての回答は、どうなっているのか。
事務局	デマンドは、利用者数が少ない場合に行うバスの運行方式である。 現状は2台のバスを使って運行している。
委員	上北手コースは2，392人で9便に対し、木曽石コースは1，470人で3便では、不公平である。
事務局	当初の路線バスの便数に合わせている。
委員	東京大学のデマンド方式の検討はしたのか。
事務局	木曽石コースには、現状では、即していないと考えている。
委員	デマンドにすると、利用者の家まで来てもらえるのではないか。
事務局	ほかの地区でデマンドを行っているが、ルート上での乗降をお願いしている。
委員	バスの乗降の段差が大きいため、段差が少ないバスの検討して欲しい。

- 事務局 段差が少ない低床バスの導入については、費用がかかるため、中古車の販売状況を見ているが、なかなか無い状況である。
国や県に対して、費用の補助について要望したいと思っている。
- 事務局 デマンドについては、電話の予約が必要であることから、実情としては、手続きが煩わしいという問題がある。
- 事務局 ほかに意見がなければ、これで協議会を終了する。
なお、検討事項の回答については、会長と連絡を取り合いながら対応していくこととする。